

ハンドボール競技における GK が行うスカウティングについて

ー日本女子のトップレベルの GK を対象にー

網谷 涼子 (201011844、ハンドボール方法論)

指導教員：山田 永子、會田 宏、藤本 元

キーワード：ビデオ分析、想定練習、ゴールキーパー(GK)観、キーピング

【目的】

球技スポーツにおいて勝利を決定づける要因としてスカウティングが挙げられる。各球技スポーツではゲーム分析ソフトを用いて、対戦相手の情報収集や、動作解析をしてスカウティングが行われるようになった。そこで本研究では、ハンドボール競技の日本女子のトップレベルの GK が行うスカウティングについて明らかにし、自身の競技生活に活かすことを目的とする。

【方法】

本研究では、日本女子ハンドボール界において最も競技歴の長い、トップレベルの GK 三名を調査対象とした (H.K. 選手、Y.A. 選手、M.T. 選手)。その三名にスカウティングについてインタビューを行い IC レコーダーに録音した。録音したインタビュー内容を文字起こしして話の内容ごとに分類し、その中から重要な語句を抜きだしてステップコーディングを行った。それを基にスカウティング実態の文章化を行い、各選手のスカウティングをモデル化し、いずれの選手にも、本研究の趣旨を事前に十分に説明し、調査に関する了解を得て分析をした。

【結果と考察】

1. H.K. 選手のスカウティング

試合の一週間前からビデオ分析をはじめ、相手と対戦したビデオを選択して「なぜ、シュートを阻止できなかったのか」についてと、自分の苦手なポジションからのシュートを特に分析する。

想定練習では、シュートを放ったポジション、シュートコース、シュートタイミングをチームメイトに要望し、そのシュートを受けて試合への不安をなくし、身体で手応えを得て試合を向かえていた。

2. Y.A. 選手のスカウティング

試合の一週間以上前からビデオ分析を行い、ハンドボールコート半面の半面が書かれた用紙を用意して、そこに対戦相手のポジションを当てはめてシュートを放ったポジションとシュートコースをチェックする。そこで、キーマンとなる選手をピックアップして、その選手が試合にどう絡んでくるかを分析していた。

相手を想定した練習では、対戦相手に似せたシュ

ートを打って欲しいとチームメイトに要望してそのシュートを受けるトレーニングと、監督との一対一の GK 練習を行い、身体で手応えを得て試合を向かえていた。

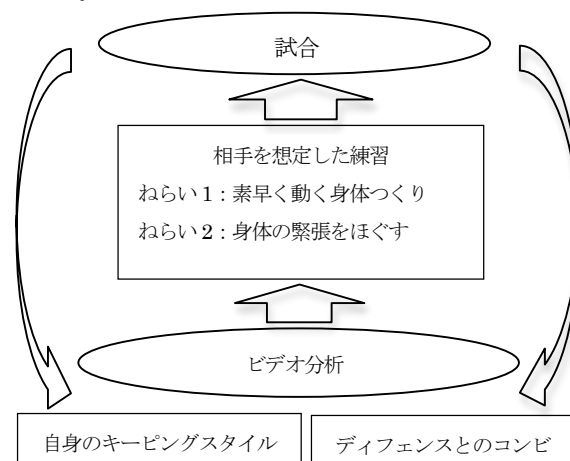


図1 Y.A. 選手の試合に向かう準備モデル

3. M.T. 選手のスカウティング

1) チームの監督から対戦相手の情報を聞き、その情報に基づいて試合の一週間前からビデオ分析を行う。ビデオ分析ではキーマンとなる選手をフォーカスしてシュートコース、シュートへの入り、シュートバリエーションなどを分析し紙に書く。ビデオ分析後にもう一度監督とミーティングを行い、相手の対応策を話し合う。

【結論】

本研究の目的は日本女子ハンドボール界のトップレベルの三名の GK のスカウティングを明らかにし、自身の競技生活に活かすことであった。結論は以下の通りである。

- 1) 対戦相手の情報を収集し、収集した情報を整理して試合に臨むためにビデオ分析を行う。
- 2) ビデオ分析は試合の約一週間前に行われ、キーマンとなる選手のシュートコース、シュートの入り方、シュートバリエーションを分析する。
- 3) 試合への不安を軽減し、身体で手応えを得る為に対戦相手を想定した練習を行う。

以上の結論は長い競技歴を持つトップレベルの GK が行っているスカウティングであり、これらが初心者から中級者レベルの GK に適するとは言えない。